



# 未来

令和8年4月6日発行

10<sup>th</sup>  
Years  
ANNIVERSARY 第1号

都立城東特別支援学校長  
秋本 友美

## みんなの「できる」が未来を拓く

暖かな春の日ざしが嬉しい季節になり、学校の花壇等には色鮮やかな花が咲き始めました。児童・生徒の皆さん、そして保護者の皆様、進級おめでとうございます。

8日（水）には、希望に胸を膨らませて入学する58名の児童・生徒を迎え、城東特別支援学校全体での令和8年度の教育活動がスタートします。

私が着任した令和7年度から令和9年度までを、「教育基盤充実期」と位置付けています。令和7年度は、1年間かけて「城東の学びの総合計画」を大きく変換し「目指す学力（生きる力）」5つを明らかにしました。その過程の中で、「分かりやすく・伝わる言葉で語ろう！」と、教職員から上述のキャッチコピーが生まれました♪

一人一人の未来を見据えて、「4者【教員・子ども・保護者・地域】」が、どのようなセッションを織りなしていくのか「目の前のことは、全て「なりたい自分になる未来」につながっている」ことを踏まえた、4者の力をもってして「できる」を育てる指導・支援・関り・・・

このキャッチコピーは、今後4者の共通アイテム（共通言語）として活用していきます。

「本学校だよりのタイトル」も「えがお」から、**未来**に刷新します！

そして「教育基礎充実期」2年目の令和8年12月「創立10周年記念式典」を挙行いたします。式典と言うと、ここまでの歩み、10年間の歴史にフォーカスしがちですが、城東はそれだけではなく、「自分らしい生き方」**未来**を語っていきます。

最後に、本日の始業式等で、子供たちや教職員に話したことを少し御紹介します。

- ①「健康・学習・友達を大切にしよう」
- ②「どんなことでもOK『これにチャレンジしてみる！』と目標をたてよう」
- ③「たてた目標を学級などで友達や先生、おうちの方に伝えよう」
- ④「あいさつをしよう」

ベースにあるのは「人権」「意思表示」「コミュニケーション」、いずれも「教育の本丸」です。これらは「目標や課題解決に向け主体的に取り組む」教育活動にすべてつながるものです。

私自身、上記を実践し、校長として児童・生徒及び教職員のロールモデルになるよう努めてまいります。

4月22日（水）午後の全校保護者会では、令和8年度の学校経営、「教育内容を深めるための方策」等について御説明いたします。御出席をお待ちしています。

校長 秋本 友美

# 城東特別支援学校の自慢



和田 大 副校長

今年度、本校に着任しました和田大と申します。

3月までは東京都立田園調布特別支援学校で勤務しておりました。多摩川沿いに桜が咲き誇る美しい地域でしたが、旧中川をはじめとした水辺空間が広がる大島地域の魅力に、心が躍っております。

この素晴らしい地域で、児童・生徒、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員が一体となり、「共に学び、共に伸びる」教育を推進していけるよう尽力します。どうぞよろしく願いいたします。

櫻田 健児 主幹教諭

昨年度は校内における ICT 機器貸出システムや情報共有ツールの活用等、校務 DX 化に取り組んで参りました。このことでたった数分かもしれませんが、時間を生み出すことができました。

1年間を通してみれば大きな時間になります。DX 化で生み出した時間は教え方改革へ。教材準備や子供たちのケース情報の共有等、子供により向き合える時間として活用し、子供たち一人一人の成長につなげてまいります。

塩田 亜沙美 主幹教諭

昔からある商店街を含めて、大島地域の豊かな資源と様々な方との交流を通して、「城東の学力=生きる力」の育成がスタートします。

国語、算数、生活、図工・美術・学校で学んだことを地域で生かすのに、こんな絶好の機会はありません。自分で作った作品を渡し伝える、交流を通して誰かが喜ぶなど、粛々と過ごす日々にも充実感が得られる教育を行ってまいります。今後の子どもの姿に期待大！です。

白戸 友彬 主幹教諭

昨年度、理想の教育課程とは何かを追求し、教育課程の再編を全教員が関与し、考えて参りました。そして、児童・生徒が見通しをもてる、集中できる週時程を作りました。またその過程で、育てたい

「城東の学力」を導き出し、図式化したグランドデザインも作成しました。4月の全校保護者会でお示し致します。児童・生徒の学びの姿を丁寧に見取り、その成果を4者（教員・子供・保護者・地域）と共有していきながら、より質の高い教育の実現を目指して参ります。

田中 美晴 主幹教諭

本校は今年度、創立11年目を迎え、12月には記念式典を行います。



令和8年1月から令和9年3月末までを「アパーサーイヤ」とし、さまざまな取組を進めてまいります。その一つとして災害時対応自動販売機を設置しました。今後は子供たちの描いたイラストでラッピングして、世界に一つだけの“城東自動販売機”に生まれ変わります。完成を楽しみにお待ちください。（来校時には御活用ください。）

陸川 香都 主幹教諭

本校は、子どもたちが元気な挨拶を交わし合う、明るく活気のある学校です。毎朝の「おはようございます」から、元気をもらっています。気軽に声を掛け合える風通しの良さも。学期ごとの「お互いを大切に作るアンケート」では、子供たちが自分の思いを伝えること、受け止めてもらえる安心感をもてることを大切に取り組んでいます。4月からも教職員、子ども、家庭が仲良く、そして楽しく学校に通える毎日を皆で作っていきましょう。

## 【未来後記】

私の夢は教員になることでした。実際に教員になり、時に困難もありましたが、保護者の方と一緒に、指導や支援方法を考え、困難を乗り越える度に「教員になって良かった」と感じることができました。「やってみたい」「挑戦してみたい」という気持ちが湧く教育活動や、児童・生徒一人一人が「自分で選ぶ」ことができる教育活動を設定し、自分で考え、選び、行動できるような教育を推進する学校経営を行って参ります。

学校経営計画では、東京都教育施策大綱及び東京都教育ビジョン（第5次）に基づき、地域コミュニティの基盤形成を核に、子供たちの学力向上を目指しています。本校の自慢（上記）を主幹教諭が述べていますが、地域に根差した本校の特色ある教育活動を、児童・生徒、教職員、保護者の皆様及び地域の皆様と一体になり、推進してまいります。

副校長 和田 大